

令和6年度 年間学習指導計画案

科目	国語表現	単位数	2単位	学年・学科・コース	2年・普通科・スポーツコース
使用教科書	国語表現（東京書籍）		副教材等	なし	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができる。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4 5	◇表現とは何か 1分かりやすく説明しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・冒頭の文章や「表現の窓」の文章を読んで、「表現とは何か」について考える。 ・情報を整理し、「相手」「内容」「目的」「状況」に応じて、分かりやすく伝える方法を身につける。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 ・自分の考えを明確にし、根拠となる情報を基に的確に説明するなど、表現の仕方を工夫している。 ・分かりやすい説明に必要なことを粘り強く理解しようとしている。 	定期考査 授業態度 小テスト 課題
6	2身体で表現しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・演劇的な活動に取り組み、自分の身体を効果的に使って表現するスキルを身につける。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、語彙を豊かにしている。 ・相手の思いや考えを引き出したりする工夫をして、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 ・即興で演じる活動を通じて、表現の仕方を改善しようとしている。 	
7 8	3「問い」を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・問う力・質問力が自他の表現および思考の質に大きく関わることを認識し、その種類や機能を学び、活用法を習得する。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。 ・自分の考えを明確にし、根拠となる情報を基に的確に説明するなど、表現の仕方を工夫している。 ・学習の見通しをもってインタビューの企画、準備、実施、インタビュー記事の執筆活動に臨もうとしている。 	

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
9 10	4「自分」を表現しよう	・自己分析を行い、第三者の意見も踏まえて、客観的に「自分」を把握する。	○			・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深めている。	定期考査 授業態度 小テスト 課題
				○		・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。	
					○	・相手に共感をもって聞いたり読んだりしてもらうために必要なことを粘り強く理解しようとしている。	
11 12	5論理的な文章を書こう	・小論文を書くことを通して、与えられたテーマに対して自分の考えを明確にする力と、論理的で説得力のある文章を書く力を身につける。	○			・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めている。	
				○		・読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いるなど、文章の展開や構成を工夫している。	
					○	・小論文を書く活動を通じて、根拠を明確にしながらか論じることを粘り強く理解し、自らの文章を改善しようとしている。	
1 2 3	6話し合う力をつけよう	・合意形成を目的とする話し合いの展開パターンと、それを支えるファシリテーションの概念および基本的なスキルを学ぶ。	○			・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深めている。	
				○		・互いの主張や論拠を吟味したり、話し合いの進行や展開を助けたりするために発言を工夫するなどの工夫をしている。	
					○	・ファシリテーションの意義や技法を粘り強く理解し、学習の見通しをもって話し合いの中で積極的に実践しようとしている。	